

モニタリング結果報告書（平成24年度下半期）

施設	あいかわ公園
指定管理者	財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団
指定期間	H21.4.1 ～ H27.3.31
施設所管課	都市公園課（厚木土木事務所）

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

A

<判定理由>

公園の魅力向上のため、行き届いた植物管理と施設管理を行い、愛川町や宮ヶ瀬湖周辺拠点施設と連携した取組みを積極的に進めるなど提案を上回る取組みを実施し、広報活動や魅力的な施設作りに積極的に取り組んだ。また、今期は天候等の影響で利用者数が前年より減少したが、運営努力により公園の満足度が高く、リピーターが多いこと、提案を上回る取組みを実施しつつも、良好な収支状況であること、苦情・要望等の対応状況も良好なことからA判定とした。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月12日	11月30日	○	○	○	無	
11月	12月10日	12月26日	○	○	○	無	
12月	1月10日	1月30日	○	○	○	無	
1月	2月12日	2月28日	○	○	○	無	
2月	3月11日	3月25日	○	○	○	無	
3月	4月10日	4月30日	○	○	○	無	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	植物管理及び環境に配慮した管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者がいつ来園しても気持ちよく過ごせる環境を作ることを目指し、公園のシンボルである「花の斜面」は常にレベルの高い維持管理を行い、花壇は定期的に植栽を変更する工夫をしており、園内の除草も高頻度で行った。 ・プランターの花は、一定期間が経過したのもでも廃棄せず、毎月「花の日」のイベント時に利用者へ無料で配布し、環境配慮のアピールと利用者の再訪を促した。 ・植物管理で発生した刈草や剪定枝は堆肥化して公園の植物管理に利用した。 ・上半期同様に事務所等の電球の間引きを継続し、石油ストーブによる暖房設備の併用、また中央広場の噴水を止めるなどの節電対策を行った。

	提案内容	実施状況
2	<p>利用促進方策</p> <p>①中津川モンゴルフェスティバルの開催</p> <p>②クリスマスイベントの実施</p>	<p>①11月18日 参加者1,000名 NPOユーラシアンクラブ・愛川サライの共催と愛川町観光協会の後援、地元区長会の協力により、モンゴルの相撲、音楽、食品、文化などをPRするイベントを行った。</p> <p>②11月24～12月25日 来場者22,000名 地元の保育園との連携により、パーク内の15mのもみの木等に600個のオーナメントを飾った。自然の中のクリスマスツリーを提供し来園者を魅了した。 また、11月24日に参加者55名でクリスマスリース作りを行った。</p>
3	<p>地域や関係機関との連携</p> <p>①厚木青年会議所とあいかわスポーツフェスタを開催</p> <p>②山岳会と初心者ハイキング教室を開催</p> <p>③地域ボランティアと伝統工芸を広めた</p>	<p>①11月25日 参加者3,700名 スポーツに慣れ親しむことを目的に、ノルディックウォーキングやヨガの体験が行われ、マラソニッククリニックでは、オリンピック出場者のランニング指導もあり、多くの方の健康増進が図られた。</p> <p>②12月2日 参加者15名 地元の山岳会の協力により、自然資源を活用したハイキングを行い好評であった。</p> <p>③3回実施（1/17～3/17）参加者88名 地元の「まちづくり山上」の協力により、「中津ほうきをつくろう」を開催し、愛川町の伝統工芸を県内外に広めた。</p>
4	<p>利用促進方策</p> <p>①宮ヶ瀬湖周辺3拠点を含めた公園のPR及び公園情報の効果的な提供</p> <p>②利用者の満足度を向上させる仕組みづくり</p> <p>③利用者の再訪（リピーター）を促す魅力</p>	<p>①宮ヶ瀬湖周辺3拠点を含めた公園のPRを行うため、「宮ヶ瀬湖周辺3エリアマップ」を他の2拠点と共同で制作し、公園情報の提供に努めた。</p> <p>②じゃぶじゃぶ池脇に当所が設置したパーゴラ周辺を整備し、日陰スペースとして活用した。また、来園者の要望の多い軽食販売をパークセンターで行い、利用者の利便向上に努めた。</p> <p>③工芸工房利用団体には、ダイレクトメールにより翌年度の事業案内を行い、リピーターの増加に繋げた。</p>
5	<p>利用者への対応及び公報活動</p> <p>①駐車場の混雑緩和対策</p> <p>②ヤマビル対策</p>	<p>①行楽シーズンの駐車場の混雑解消のため、「料金前取り制度」を実施したところ、混雑が緩和し、利用者の利便向上が図られた。</p> <p>②ヤマビル対策として、忌避剤を登山道入口などに配備し、定期的に補充を行い、ポスター等で注意喚起を行った。</p>

4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)		120,191	0	4,401	124,592	124,592	0
予算額	前年度	114,598	0	28,070	142,668	142,668	0
	上半期	52,233	0	19,600	71,833	71,833	0
	下半期	62,365	0	8,470	70,835	70,835	0
	今年度	114,598	0	29,699	144,297	144,297	0
	上半期	52,233	0	21,539	73,772	72,557	1,215
	下半期	62,365	0	8,160	70,525	71,740	▲ 1,215
下半期実績額	10月	8,451	0	3,604	12,055	12,326	▲ 271
	11月	8,626	0	2,769	11,395	11,682	▲ 287
	12月	12,698	0	895	13,593	15,927	▲ 2,334
	1月	10,916	0	372	11,288	11,036	252
	2月	10,916	0	435	11,351	9,939	1,412
	3月	10,758	0	1,755	12,513	19,359	▲ 6,846
	今年度 下半期合計	62,365	0	9,830	72,195	80,269	▲ 8,074
	前年度 下半期合計	62,365	0	10,219	72,584	81,167	▲ 8,583
	対前年度下半期比			③	-0.5%	-1.1%	
参考	今年度 上半期合計	52,233	0	21,661	73,894	65,707	8,187
	今年度 合計	114,598	0	31,491	146,089	145,976	113

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	該当なし
② 今年度下半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	○	修繕事業が多かったことや、上半期からの委託事業への支出が多かったことから、下半期の支出増加となった。
③ 収入額又は支出額が前年度下半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：30万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	998	ふれあい広場の階段2箇所への手すりの設置等
下半期	248	冒険の森の遊具離隔距離確保、じゃぶじゃぶ池の塗装補修
合計	1,246	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	40,313 人	44,147 人	▲ 8.7 %
11月	33,519 人	46,003 人	▲ 27.1 %
12月	16,856 人	22,934 人	▲ 26.5 %
1月	23,205 人	25,937 人	▲ 10.5 %
2月	24,821 人	19,254 人	28.9 %
3月	34,938 人	27,834 人	25.5 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	195,000 人	239,448 人	273,227 人	22.8 %	▲ 12.4 %
今年度下半期計	145,000 人	173,652 人	186,109 人	19.8 %	▲ 6.7 %
今年度合計	340,000 人	413,100 人	459,336 人	21.5 %	▲ 10.1 %

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度下半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	×	該当なし
② 今年度下半期の利用者数が目標利用者数を下回った	×	該当なし
③ その他特記事項		

6 苦情・要望等の状況

受付件数

下半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	32 (0)	32 (0)

(参考)

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	47 (0)	47 (0)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応	駐車場でリードを付けていない犬がいたため、職員が来園者に注意したところ、今来たばかりなのに注意するのか、対応が悪いと苦情を受けた。	その後、所長が対応し、来園者も納得し解決した。翌日の朝礼で公園接客ガイドの再確認を行った。
事業内容		
その他		

8 事故や不祥事等の発生状況

該当なし

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)

9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
()		
()		
()		

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

あいかわ公園は、年間40万人以上が訪れる公園で、若い家族連れや宮ヶ瀬ダム施設見学と公園での工芸体験等を目的とする大型バスによる小学生等の来園者が多い。

特に、幼児から利用できる遊具の行き届いた安全管理が若い家族連れのリピーターを増加させている点や、草花や樹木の適切な管理により来園者から高い評価を得ている点、さらには愛川町、宮ヶ瀬ダム関係施設、地域団体等と連携したイベントを積極的に行い、伐採木を利用した工作体験など森林資源を有効活用したイベントや地域と連携した取組みなどの工夫をしている点が評価できる。

今後ともこうした取組みを継続するとともに、地域と連携した魅力的なイベントの開催、効果的な情報発信をさらに工夫しつつ、県民が安心して憩うことができる、安全で魅力ある公園づくりを指導していく。